

# れんけい だより

Vol. 80

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌  
共済組合連合会

地域医療支援病院

救命救急センター

周産期母子医療センター

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

がんゲノム医療連携病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川県災害医療拠点病院

DPC 特定病院群

病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)



## 新年の ごあいさつ

### CONTENTS

新年のごあいさつ	P 2
新棟の誕生	P 3
地域医療構想 Part9	P 4
市民公開講座 横須賀がんフォーラム	P 5
診療科部長に聞く	P 6
がん教育	P 8
三浦半島地域 緩和ケア研修会	P 9
院内がん登録について	P 10
2023年度 医療連携登録医【医科】 アンケート結果	P 11

# 新しい世界へ

新年あけましておめでとうございます。連携いただき皆さまには、変わらぬご協力を深く感謝申し上げます。

この20年来、かつてのどこも総合病院をめざした1病院完結型から、それぞれの病院が得意な分野に機能を特化してネットワークを形づくる、地域完結型医療への転換が図られてきました。すでに三浦半島では17病院が協定を結んでアライアンスを形成しており、県ではフロントランナーとなっています。強い一体感が見られるこの地域に対して、県がサポートしてくださることになりました。対象は、国が進める医療デジタルトランスフォーメーションの柱の一つ、デジタルネットワークです。

新型コロナウイルス禍に襲われた時に明らかとなった日本の悲しい現実、FAXや電話に頼る診療情報のやり取りでした。実は、患者さんのデジタル化されている診療情報は、すでに多くが病院にあります。この情報を、新たに導入するEHR（エレクトロニック・ヘルス・レコード）というシステムで病院間のみならず、クリニック、在宅、薬局、いずれは介護など一体的にやり取りできるようにし、電子処方箋にも対応したいと考えています。また、湘南鎌倉総合病院を核とした鎌倉市ともタイアップし、広域で展開します。

プロポーザル入札でベンダーはほぼ決まり、名称は“さくらネット”（満開の花が咲かせられるように）を予定しています。

県のモデルとしてのトライアル、成功できますようにぜひご協力のほどお願いいたします。



横須賀共済病院 病院長  
長堀 薫

## 新棟の誕生

### 開院に向け整備が進行中!

～2023年10月16日 職員説明会・2023年11月19日 住民説明会を行いました～

横須賀・三浦医療圏の基幹病院として地域の医療を担い続けられるよう、地震や津波などの災害に強く、最新の高度急性期医療を提供する病院をつくるために、A棟・B棟・外来棟1号館及び増築棟を除く、経過年数40年以上の建築物7棟を廃して、サプライ棟・中央診療棟・エントランス棟の3棟を2031年度までに整備する計画です。

竣工予定はサプライ棟2026年度、中央診療棟2029年度、エントランス棟2031年度となっています。

救急部門からECUや手術室へ専用エレベーターで結び、高度急性期病院としてさらなる救急医療の機能強化と充実を実現します。中央診療棟は免震化し、サーバー室や電気室を上層階へ配置して病院のノンダウン化を図り、安全・安心で医療が継続して提供できる環境を整備します。

2022年9月には設計会社との契約を締結し、基本設計が始まりました。その後、各種調査や実施設計と建築へ向けた準備が進められています。

建替え期間中にはご迷惑おかけいたしますが、ご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

新棟建築プロジェクト担当・施設課



南西側鳥瞰



南側正面



北側道路より計画建物を見る

# 地域医療構想

## みうら半島の明日を考える

2023年11月2日 みうら半島病院会の主催で地域医療構想講演会が開催されました。  
 講師は地域医療連携推進法人 日本海ヘルスケアネット代表理事、栗谷 義樹先生に「先駆者に学ぶ」～地域医療構想の実現～ご講演いただきました。本会場（セントラルホテル）には、医師会の先生方、近隣の病院管理者、行政の皆さま、さらには県・市議会議員の方など約120名の方にご参加いただきました。

### Program -プログラム-

#### 1. 開催挨拶

三浦半島病院会 会長 長堀 薫

#### 2. 来賓代表挨拶

◇神奈川県健康医療局 保健医療部 部長 埋橋 美穂  
 ◇逗葉医師会 会長 田嶋 博雄

#### 3. 来賓紹介

#### 4. 地域医療構想 みうら半島の明日を考える Part9

テーマ **先駆者に学ぶ  
「地域医療構想の実現」**

座長 三浦半島病院会 会長 長堀 薫

講師 地域医療連携推進法人  
 日本海ヘルスケアネット代表理事  
 栗谷 義樹 先生

#### 5. 閉会挨拶

神奈川県病院協会 会長 吉田 勝明



地域医療連携推進法人 三浦半島病院会  
 日本海ヘルスケアネット代表理事 栗谷 義樹 先生  
 長堀 薫 会長



神奈川県健康医療局 保健医療部 埋橋 美穂 部長  
 逗葉医師会 田嶋 博雄 会長



神奈川県病院協会 吉田 勝明 会長

# コロナ禍を超えてパワーアップする 内視鏡手術とロボット手術

12月2日（土）「がん」をテーマに、市民公開講座を開催しました。  
 当日は約60名の方にご来場いただきました。  
 今後も皆さまに「市民公開講座」で知識を深め、行ってよかった！  
 と思っただき、がん医療に貢献できればと考えています。



#### 総合司会

副院長 兼 血液内科部長  
 豊田 茂雄



#### 講演 1

呼吸器外科疾患の  
 内視鏡手術と  
 ロボット手術について

呼吸器外科部長  
 諸星 隆夫



#### 講演 2

腎臓と膀胱がんに対する  
 ロボット支援手術より安全で  
 負担の少ない治療をめざして

診療部長 兼 泌尿器科部長  
 小林 一樹



#### 講演 3

婦人科疾患の  
 鏡視下手術

産婦人科医長  
 竹重 諒子



#### 講演 4

大腸がんに対する  
 低侵襲手術 ～腹腔鏡  
 手術とロボット手術～

外科医長  
 諏訪 宏和



### 横須賀がんフォーラム アンケート

開催ありがとうございました。  
 12/1 朝刊の折り込みチラシで知り、本日聴講できて良かったです。知人・隣人ががんで亡くなり落ち込んでいましたが、治療に希望が持てました。（70代）

病院の中で行われている治療について、よく理解することができました。高レベルな治療が受けられる病院が近くにあることは、とてもありがたいことだと思いました。（50代）

がんに関する検診・治療及び手術の進歩が良く理解できました。腹腔鏡及びロボット手術の説明と動画に、より安心感と信頼感が増したように思いました。先端医療技術が今後とも進歩するよう努力をよろしく願います。（70代）

# 診療科部長に聞く

第24弾

拡大版 外科

## 横須賀三浦地域の基幹病院として 高度、低侵襲、安全な外科診療を行っています



外科 部長  
**舩井 秀宣**

**Profile**

**専門領域**  
消化器外科、一般外科、内視鏡外科、肝胆膵外科

**認定資格**  
医学博士  
日本外科学会 外科専門医・指導医  
日本消化器外科学会 専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医  
日本肝胆膵外科学会 評議員・高度技能指導医  
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医

**経歴**  
横浜市立大学 昭和 62年(1987年) 卒

私どもは、いつ・どんな症例に対しても地域の先生方のお力になれるようにとの心構えで日々診療をおこなっております。気軽にご相談いただければと存じます。また多くの癌患者の外科治療を行っておりますが、外来診療において患者さんに長時間の診察待ちをいただいている状況で、神奈川県のがん地域連携パスは連携医の先生にもお使いいただきにくい部分もありますので、令和5年度より横須賀共済病院がん地域連携パスを運用開始とさせていただきます。ご協力お願い致します。

外科 部長  
**野尻 和典**

**Profile**

**専門領域**  
消化器外科、一般外科、肝胆膵外科、内視鏡外科

**認定資格**  
医学博士  
日本外科学会 外科専門医・指導医  
日本消化器外科学会 専門医・指導医  
日本消化器病学会 専門医・指導医  
日本肝臓学会 肝臓専門医  
日本肝胆膵外科学会 評議員  
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

**経歴**  
横浜市立大学 平成 12年(2000年) 卒



当院外科は消化器、乳腺、腹壁の疾患等を対象に手術治療・化学療法(抗がん剤治療)を行っています。県内有数の手術件数(年間1,400~1,500件)を誇り、地域がん診療連携拠点病院として集学的治療を行い、約300件の緊急手術にも対応しております。患者さんに負担の少ない腹腔鏡手術・ロボット支援手術にも力を入れています。横須賀・三浦地域で安心して手術が受けられるようにスタッフ一丸となって、診療に取り組んでいます。

## 外科医師インタビュー



副部長  
**小野 秀高**

**専門領域**  
外科一般、上部消化器外科

**学会専門医資格**  
日本外科学会 外科専門医  
日本消化器外科学会 消化器外科専門医 消化器がん外科治療認定医  
日本内視鏡外科学会 技術認定(消化器・一般外科)  
日本食道学会 食道科認定医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
難病指定医(ぼうこう又は直腸機能障害)

**経歴**  
山梨医科大学 平成 10年(1998年) 卒  
横浜市立大学大学院 平成 16年(2004年) 修了

平素より多くの患者さんを御紹介頂き、誠に有難うございます。食道癌では2023年4月に新しい放射線治療の機械が、胃癌では2023年9月にロボット手術が導入されました。また、がん地域連携パスを積極的に導入して、術後も地域の先生方と連携してフォローアップしております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



医長  
**諏訪 宏和**

**専門領域**  
下部消化管外科

**学会専門医資格**  
日本外科学会 外科専門医  
日本消化器外科学会 専門医・指導医  
日本内視鏡外科学会 技術認定医・ロボット支援手術認定プロクター(直腸)  
日本ロボット外科学会 国内B級

**経歴**  
信州大学 平成 15年(2003年) 卒

日頃より多くの患者さんをご紹介いただきまして誠にありがとうございます。地域がん診療連携拠点病院として円滑な消化器癌診療を提供するためには地域の先生方との連携が不可欠であると考えております。患者さんまた先生方に信頼していただけるように努めて参ります。今後ともよろしくお願ひいたします。



医長  
**鈴木 千穂**

**専門領域**  
乳腺外科

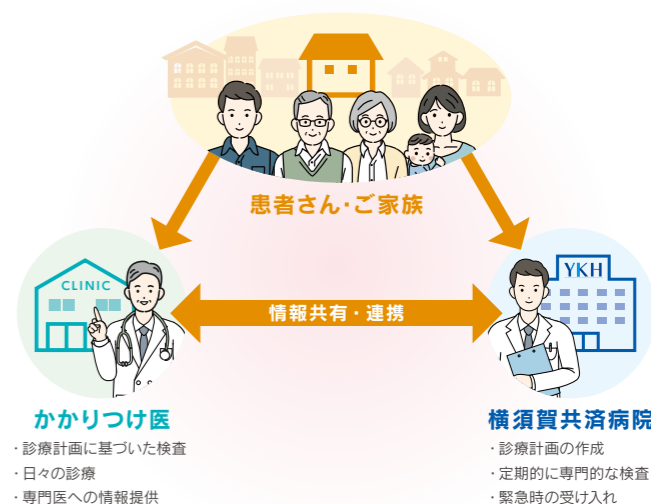
**学会専門医資格**  
日本外科学会 外科専門医  
日本乳癌学会 乳腺専門医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
乳房再建用エキスパンダーインプラント責任医師

**経歴**  
新潟大学 平成 22年(2010年) 卒

乳癌診療にて横須賀三浦地域の皆様に貢献できるよう尽力いたします。地域の先生方には新規患者さんのご紹介、ならびに検診事業や術後患者さんのフォローでも連携頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

### 横須賀共済病院 がん地域連携パスを 2023年11月1日より 運用開始しました

がん地域連携パスとは、患者さんに安心、安全で質の高い医療を提供することを目的としています。「連携パス」は、患者さんを中心に計画策定病院(横須賀共済病院)と連携医療機関(かかりつけ医)が、診療計画、検査結果、治療経過等を共有するためのツールとして活用しています。今後ともご協力のほど、よろしくお願ひ致します。



# がん教育

中学生・高校生の皆さんへ、がんに関する正しい知識と、がんそのものやがんの患者さんに対する理解を深める学習を進めるため、がん教育を行いました。

## ～中学生に対するがん教育～

横須賀市立久里浜中学校 2023年10月26日



横須賀市立久里浜中学校  
秋本 翔平 教諭  
よりコメントをいただきました！

「がんはどうやってなるの?」「がんになったらどうなるの?」「治療はどんなものがあるの?」。事前アンケートで分かった生徒の疑問に沿って授業をしていただきました。

発生の仕組みや治療方法をはじめ、生活習慣・検診・早期発見の大切さ、がんを患う患者さんの気持ちなど、科学的かつ医師としての立場もふまえた授業をしていただいたことで、多くの生徒が「がん」に対する意識が高まったと感じています。



## ～高校生に対するがん教育～

神奈川県立横須賀南高等学校 福祉科 2023年11月21日

私が看護師をしているところは、がんの早期発見が難しいものも多く、5年生存率が低かったため、がんと死を切り離すことはできませんでした。今は、生徒の保護者ががん治療を受け、普通に日常生活を送っていると聞くと、医学や治療の進歩を身近に感じられます。今回の講義で、「検診」「予防」など、がんにおいても自分でできる努力があることを学び、今後生徒と共に、深めていきたいと思いました。



神奈川県立横須賀南高等学校  
福祉科  
田中 幸子 教諭  
よりコメントをいただきました！

2023年度

三浦半島地域

# 緩和ケア 研修会

2023年12月10日当院講堂において、三浦半島地域緩和ケア研修会を開催致しました。院内、院外から総勢17名での研修会でした。



### 緩和ケア研修会を修了することで算定できる加算

- ◆ 緩和ケア診療加算  
(一般病棟入院基本料等)
- ◆ 緩和ケア病棟入院料
- ◆ 外来緩和ケア管理料
- ◆ 在宅療養実績加算2 (往診料等)
- ◆ 有床診療所緩和ケア診療加算  
(有床診療所入院基本料等)
- ◆ がん性疼痛緩和指導管理料
- ◆ 在宅緩和ケア充実診療所  
・病院加算 (往診料等)
- ◆ 在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料

### 受講者よりコメントいただきました



訪問看護ステーション  
はまゆう

横山 かおる 看護師

2023年度三浦半島地域緩和ケア研修会に参加させて頂きました。多職種の視点や考え方は非常に勉強になりました。

「悪い知らせを伝える」というロールプレイで患者役を通し、医療者の話し方や声色で安心感を得られる場面もありました。精神的なフォローや意思決定を支えるためのアプローチを本研修で再認識する事ができました。地域連携という場面では、訪問看護師として入院中の様子や退院後の希望や環境調整がスムーズに行え、支えるための方法など、退院カンファレンスを通して多職種で話し合う大切さも改めて感じました。

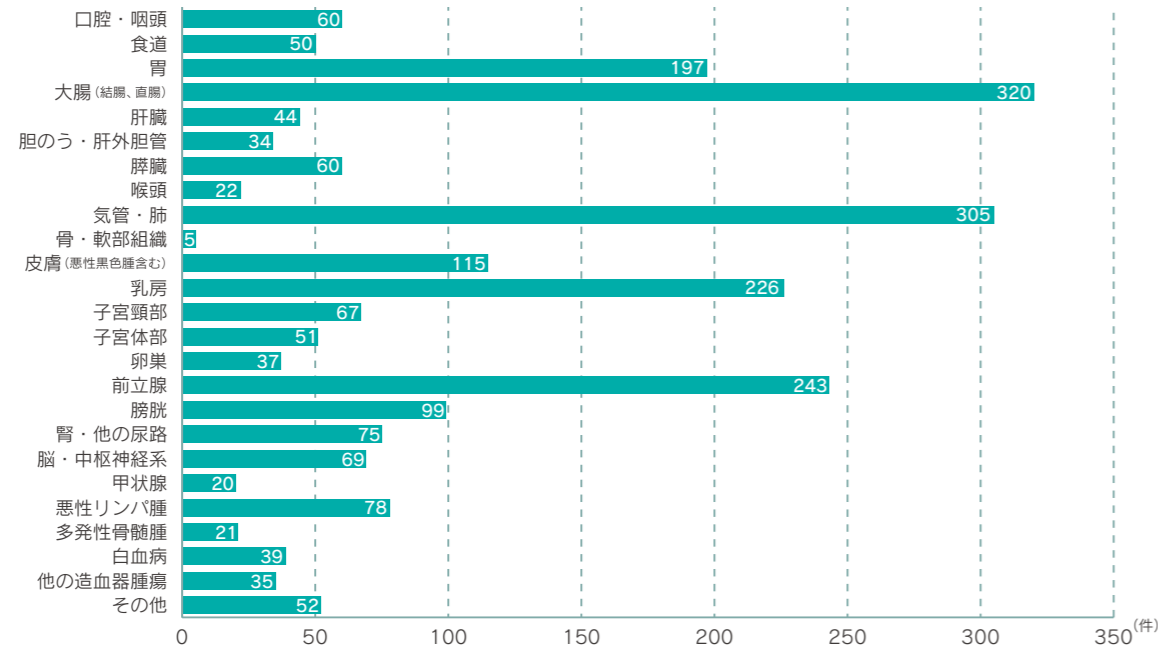
本研修の学びを今後に関し、在宅療養をおくる患者さんとご家族の生活を支えていきたいと思ひます。



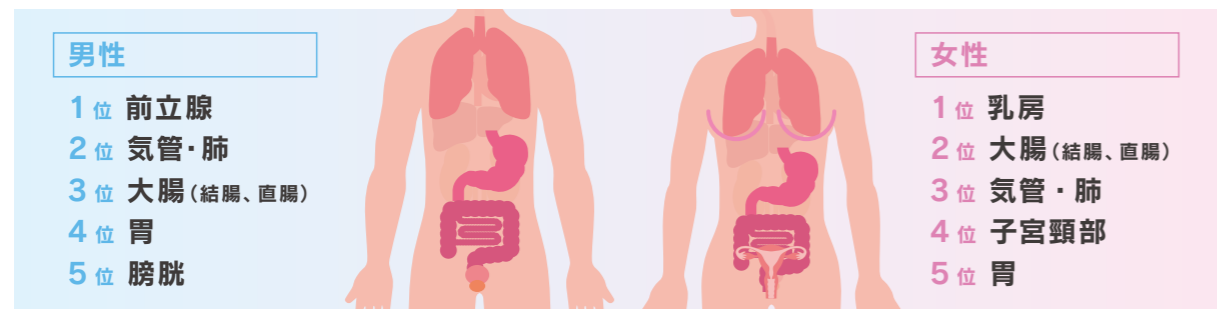
# 院内がん登録について(2022年)

院内がん登録 2022年 登録件数 2,324件 \*男女の内訳は、男性 1,324件 女性 1,000件

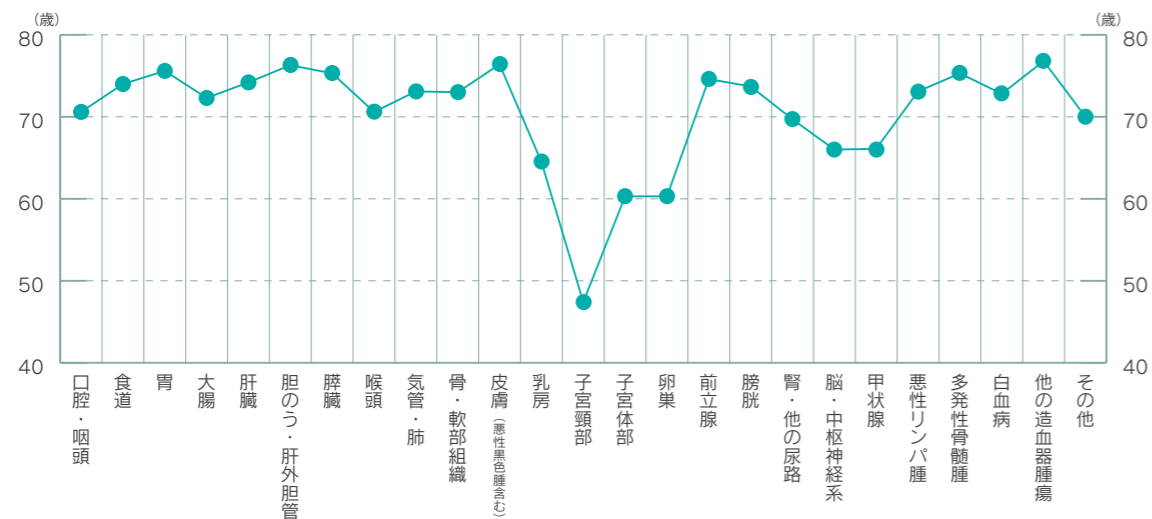
## 部位別 登録数(上皮内癌を含む)



## 部位別・性別 登録数(上皮内癌を含む)

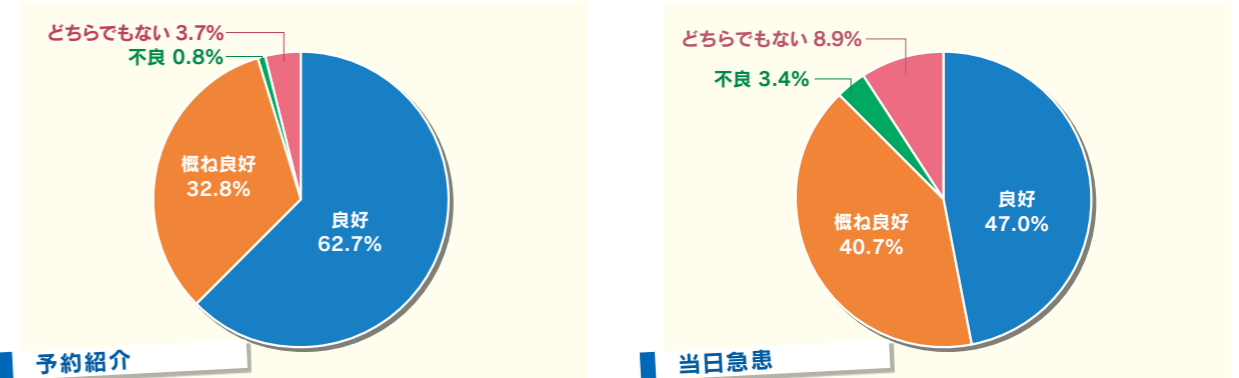


## 部位別 平均年齢

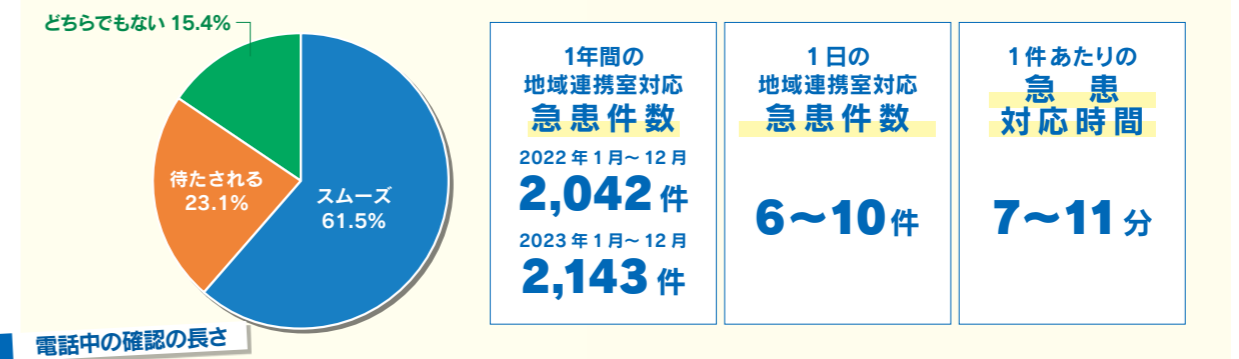
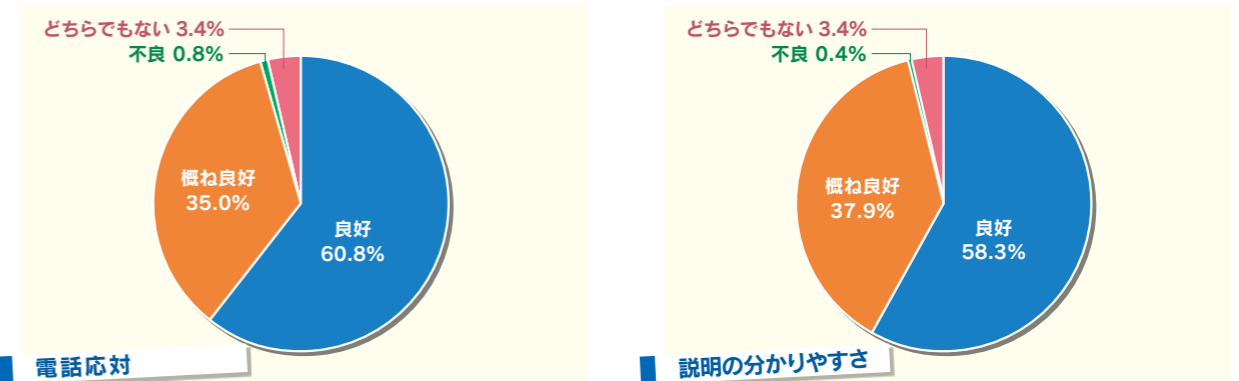


# 医療連携登録医【医科】アンケート結果

## 当院の患者受け入れ状況について



## 当院の地域連携室事務スタッフの対応について



## 電話中の確認の長さ

**その他ご意見等**

紹介患者さんの受け入れについては格段の向上があると思います。私自身は、貴院が最も信頼出来る病院となっています。

いつも大変お世話になっております。お電話が繋がりにくい事があり、少々困る時があります。その他特にごいません。今後もよろしくお願い致します。

いつもお世話になっております。御紹介のお電話をして受けて頂けるのは大変有難く思っています。しかし電話口でお返事を待つ時間がとても長いと感じられます。できればお返事を早くいただけますと助かります。

**お礼のごあいさつ**

日頃より地域連携にご協力賜りありがとうございます。この度は、アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。いただきました貴重なご意見は、地域連携室の業務改善に活用して参ります。なお、ご記入いただきましたご意見は、当院のプライバシーポリシーに従って厳重に保管するとともに、当アンケート以外の目的では使用いたしません。ご意見の多くが「電話が繋がらない」「電話の待ち時間(保留)が長い」とのご指摘でした。急患担当医や関係各所への確認や調整に時間を要してしまうことがありご迷惑をお掛けして申し訳ありません。今後は、短時間でスムーズなご案内、お受け入れができるよう努めて参ります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## 関東地区共済病院対抗大会 2部門優勝!!

コロナ禍により開催されていなかった大会が、4年ぶりにようやく開催!! 横須賀共済病院は、硬式庭球(テニス)大会・ボウリング大会ともに優勝しました。



### 退職医師

2023年12月31日付  
■ 外科 … 布施 雄馬

### 理 念

よかった。  
この病院で

患者さん・家族・職員  
すべての人が安心できる  
病院をめざします

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えることとお慶び申し上げます。

2023年はコロナ禍も落ち着き「雲外蒼天」という言葉がピッタリではないかと思うほどに、どんな試練でも、努力して乗り越えれば快い青空が望める日々になりましたね。

2024年は辰年です。上昇気流(龍)に乗り明るく活気ある年になりますように祈念しております。本年も横須賀共済病院とれんけいだよりのご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

地域連携室 宮坂・加藤

## 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16  
TEL 046-822-2710(代表) FAX 046-825-2103(代表)

### 地域連携センター地域連携室

TEL 046-827-1117(直通) FAX 046-823-5020(直通)

## YKH れんけいだより vol.80

発行日: 2024年(令和6年)1月30日  
編集: 地域連携センター地域連携室